訓練 **弟子たち**
会期 **15:祈り(7)**

ロン・ライブリー、M.Div.、M.A.による提供 – BiblicalMentoring.org(学問)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人が記憶の節を引用します: ヴァース: **エペソ人への手紙 3:11-12**
11「これは、主イエスにあって悟られた永遠の目的に基づくものであり、私たちは彼への信仰を通じて大胆と信頼を持って近づくことができます。」

ステップ3: *聖書章の全部または一部を読んで議論してください* **– *エペソ人への手紙3章***

ステップ4: 個人申請やグループディスカッションのための質問:

一. 祈りは弟子の4番目の特徴であり、神とのコミュニケーションであり、人格を育む方法です。

二. *私たちは神への祈りを向上させるための4つの指針を学びます。*

三. *なぜすべての関係は、私たちが積極的に聞くことを必要とするのでしょうか?*

四. *私たちが成功を目指すすべてのことに一貫性が不可欠であることをご存知ですか?フィリップスは「一貫したコミュニケーションは、私たちが同じように考え、似た行動をし、お互いに自信を持つことを可能にする」と言っています。*

五. *なぜ結婚や神との関係を含むすべての関係において絶対的な誠実さが重要なのでしょうか?著者は「祈りは神を追い求める者の証拠であり、疑いようのない優先事項である」と書いています。*

ステップ5*:本の内容を読み、議論する:*

著者キース・フィリップスによる第7章:

祈り

祈りは弟子の四つ目の特徴である。祈りを通じて、キリスト者は生ける神に出会う。」...キリスト・イエス・私たちの主において...私たちは大胆で自信に満ちたアクセスを持っています...」父なる方へ(エペソ人への手紙3:11,12)。信者の性格は神とのコミュニケーションによって形作られます。コミュニケーションはすべての健全な関係の秘密です。妻のケイティと私が、コミュニケーションの質によって結びつきが高まったり沈んだりすることに気づくのに時間はかかりませんでした。深く共有すればするほど、より早く一つになるのです。これは驚くことではありません。なぜなら、私とケイティの関係はキリストと私との関係をモデルにしているからです(エペソ人への手紙5:23-25)。良いコミュニケーションは知人を友人に、表面的なものを親密なものに変えます。ケイティとのコミュニケーションの質は、4つの指針を守ることで向上します。これらの原則は信者の祈りの生活にも当てはまります。

まずは褒め言葉を

健全な関係を築くのに、正直な褒め言葉ほど効果的なものはありません。ポジティブで積み重なるコメントは、敬意と称賛のしるしです。

家に帰ると、私の最初の言葉がその夜全体のテンポを決めます。一度方向性が決まると、後戻りは難しいです。もし私が妻に「門を閉められないの?」と言ったら、「息子たちが外にいるとどれほど危険か分かっていませんか?」と言えば、

結果を予測できます。「ベイビー、あなたはまるで百万ドルの美しさだよ」と言うと、なんと大きな違いが生まれますか。ケイティは私の言葉が心の延長であることを知っています。結婚生活の求愛の高揚感を保つには、賛美ほど効果的なものはありません。私が先に褒め言葉を言うほど賢明であれば、私たちのコミュニケーションは健全で深まります。ダビデは、神にどう近づくべきかを助言したときにこれに気づきました。「感謝の気持ちで彼の門に入り、賛美で彼の宮廷に入りなさい。感謝し、その名を祝福しなさい」(詩篇100:4 KJV)。祈りは主に弟子が神を礼拝し敬うための道です。万王の御前に立つ機会を胸高く楽しみにしてください。感謝の気持ちを口から流し、全能の神への畏敬の念を全身で表現しましょう。あなたには神への愛を宣言する十分な理由があります。「主は良き方であり、その憐れみは永遠であり、その真理はすべての世代に永続する」(詩篇100:5 KJV)。

積極的な傾聴者であろう

結婚したばかりの頃、ケイティはワシントンで起きた衝撃的なニュースについて話してくれました。彼女の説明の途中で私は話を遮り、代わりに話を終えました。ケイティをこれほど苛立たせたことはありませんでした。彼女は直接口にしませんでしたが、その習慣か夫のどちらかがやめなければならないとすぐに気づきました。神は忍耐強い妻を通して貴重な教訓を教えてくれました。コミュニケーションとは単なる話以上のものだと。それは積極的な傾聴であり、全神経を集中させることです。聞かないことは侮辱です。ケイティが友人との会話や訪れた場所、学んだことを話すと、私は彼女の言葉に集中して彼女の人生に関わるほど愛しています。心を神に打ち明けた後に返事がなければ、私は物足りなかったと感じます。しかし主は答えると約束されています(詩篇91:15)。神はご自身の子供たちとの完全なコミュニケーションを望んでいます。神は御言葉を通して私に語りかけ、聖書を私の記憶に呼び起こし、その美しさと励まし、御心で私の心を満たしてくださります。私はただ彼の助言に耳を傾けばいいのです。「努力をやめなさい。わたしは神である…」(詩篇46:10)私は、神と、ケイティと同様に、私たちの最も意味のあるコミュニケーションは、二人きりの時に起こることを発見しました。私は気を散らすものがないとき――ラジオも電話も、他の人もいないとき――最もよく耳を傾けます。これがイエスが弟子たちに言われたときに心にあったことだと確信しています。「…一人で孤独な場所へ行き、少し休みなさい」(マルコによる福音書6:31)。

一貫性を持つこと

長い一日の後に家に帰り、よく繰り返される挨拶をいくつか言い、椅子にどさりと座って郵便物を読むのはあまりにも簡単です―愛しい妻をほとんど無視して。些細なことを乗り越え、新しいアイデアやワクワクする計画、珍しい出来事を率直に共有するには本当の規律が必要です。苦しんでいる傷や悩み、試練について正直になるのはさらに難しいです。一日中人や問題、ニーズに押し付けられた後で、これらの出来事をもう一度繰り返し練習するのは純粋な苦痛のように感じることもあります。なんて愚かなことでしょう! ケイティは私の最大の支えです。彼女は私の重荷を背負い、喜びを分かち合いたいと思っています。継続的なコミュニケーションは、私たちは同じ考え方をし、同じように行動し、お互いに自信を持つことを可能にします。ケイティと共有し、彼女のアドバイスを求めることで、私が彼女を大切に思っていることを実感できます。もし私がコミュニケーションを取れなければ、彼女を私から排除し、私たちの結婚契約は紙切れにまで縮小されてしまいます。同じ怠惰の誘惑が、私の祈りの生活にもしばしば忍び寄ります。私はこう理屈をつけることができます。「どうせ神は知っている。私は疲れている。時間がない。明日、神に伝えよう。」ケイティの場合と同様に、先延ばしにするのは簡単です。誰も知りません。誰も私に責任を持たせません。しかし、神との継続的なコミュニケーションが任意だという考えは誤りです。私のコミュニケーションが断続的であれば、私たちの関係は悪化します。まず、パートナーと私は知っています。次に他の人たち。そしてみんなが。弟子の祈りの生活における一貫性は、長距離ランナーの持久力のようなものです。その発展には近道はありません。それは長期間の日々の練習を通じて積み上げられます。しかし、それを使わなければ、それを失ってしまいます。しばらく止まると、中断したところから再開できません。

神との親密さには定期的なコミュニケーションが必要です。長い間神と話しておらず、危機が訪れた場合、神の前にいることで居心地が悪く不安になります。継続的なコミュニケーションがなければ、信者は人生の基盤が非常に不安定な

状態に直面します。神との定期的なコミュニケーションは、あなたの心、動機、思考、さらには本能さえも神のそれと一致させます。だからこそ、テサロニケ人への第一の手紙5章17節は「絶え間なく祈るように」と教えています。あなたの忠実さは神の御前で歓迎されるものとなります。「それゆえに我らは自信を持って恵みの御座に近づき、憐れみを受け、困った時に助けとなる恵みを見出します」(ヘブル人への手紙4:16 NIV)。

正直に話してください

関係の初めに、ケイティと私はお互いに絶対に正直でいることを約束しました。私たちの結婚生活は、唯一の驚きが心地よいものであれば、強く育つと知っていました。半分の真実や誤解を招く歪みに基づいて築かれた関係は、まるでカードの家のようで、ほんのわずかな圧力で崩れてしまいます。私たちは一緒に財政について話し合い、使える予算を立て、支払えないものについて合意します。約束をする前に、社交的な活動やミニストリー活動について合意します。ケイティが私の居場所を知らない時は決してありません。私は旅行中、フライトの番号、到着時間、ホテル、連絡先、講演の約束、予約などの詳細な旅程を残します。彼女はいつでも私に連絡できます。私がいない間は毎日電話をかけます。積極的なオープンさへの私たちのコミットメントは、欲求や傷、疑問をフラストレーションになる前に共有できるだけでなく、疑いや不信感も防いでいます。多くのキリスト教徒は全知の神を騙そうとする大胆さを持っています。彼らは自分の動機を合理化し、罪の一部を告白することに躊躇を抱き、人生の特定の部分を手放すことを拒みます。ダビデはまさにそうでした。彼は殺人と姦淫の罪を隠そうとしましたが、ついに神がナタンを通して彼に立ち向かいました(サムエル記下12章)。しかしダビデは教訓を学びました。彼は神に対して完全に「率直に」なくなり、「わたしの罪を認める。私の罪は常に私の前にある」(詩篇51:3 KJV)と言われました。罪を隠そうとすれば、神は祈りを聞き入れません(詩篇66:18)。イザヤ書59章2節にはこうあります。「...あなたの罪があなたと神の間に分かれ、あなたの罪が神の顔を隠し、神が聞かないようにした。」聞かなければコミュニケーションはできません。コミュニケーションがなければ関係性はなく、関係性がなければ弟子訓練もありません。神に対する絶対的な誠実さは弟子にとって不可欠です。祈りは弟子にとって神との最も親密なコミュニケーションの手段です。彼のコミュニケーションの質が関係の強さを決定します。祈りは神を追い求める者の証拠であり、疑いようのない優先事項です(ルカ18:1)。

73-78ページ

弟子のチェックリスト - 祈り
私の祈りの生活は以下の通りです:
まず___Complimenting神様を。
___Actively聞いてる。
___Consistency。
___Complete正直に。

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれがお互いの願いを祈ります。*

出典:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(勉強問題を除く)は本書から抜粋し、改訂は加えていない。

改訂20261011